

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道58号 <small>うぶそえ</small> 浦添拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局						
起終点	自： <small>おきなわけんうらそえしぐすくま</small> 沖縄県浦添市城間 至： <small>おきなわけん なはしあじや</small> 沖縄県那覇市安謝				延長	2.9km						
事業概要												
<p>一般国道58号「浦添拡幅」は浦添市城間から那覇市安謝に至る延長約2.9kmの主要幹線道路である。</p> <p>沖縄ブロック新広域道路交通計画において、広域交通の拠点となる都市や、空港・港湾を高規格道路等と効率かつ効果的に連絡する「一般広域道路」として位置づけられており、沖縄本島北部及び中南部から那覇空港間の定時性・高速性を確保するとともに物流・観光の効率化を支援する道路である。</p> <p>また、那覇都市圏の2環状7放射道路の一部を形成し、交通経路の分散化による慢性的な混雑緩和を図る道路である。</p>												
H30年度事業化		H29年度都市計画決定		H31年度用地着手		H31年度工事着手						
全体事業費		約170億円	事業進捗率 (令和5年3月末時点)	約84%	供用済延長	2.9km						
計画交通量 64,600台/日												
費用対効果 分析結果	B/C		総費用	総便益	基準年							
	(事業全体) 1.7 (残事業) 7.8	(残事業)/(事業全体)	38/175億円 事業費：25/162億円 維持管理費：13/13億円	298/298億円 走行時間短縮便益：302/302億円 走行経費減少便益：0.88/0.88億円 交通事故減少便益：-4.5/-4.5億円	令和5年							
感度分析の結果												
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量変動 B/C = 1.7~1.8 (交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) B/C = 7.8~8.1 (交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費変動 B/C = 1.7~1.7 (事業費±10%)</td> <td>B/C = 7.3~8.4 (事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間変動 B/C = 1.6~1.8 (事業期間±20%)</td> <td>B/C = 7.6~7.9 (事業期間±20%)</td> </tr> </table>							(事業全体) 交通量変動 B/C = 1.7~1.8 (交通量±10%)	(残事業) B/C = 7.8~8.1 (交通量±10%)	事業費変動 B/C = 1.7~1.7 (事業費±10%)	B/C = 7.3~8.4 (事業費±10%)	事業期間変動 B/C = 1.6~1.8 (事業期間±20%)	B/C = 7.6~7.9 (事業期間±20%)
(事業全体) 交通量変動 B/C = 1.7~1.8 (交通量±10%)	(残事業) B/C = 7.8~8.1 (交通量±10%)											
事業費変動 B/C = 1.7~1.7 (事業費±10%)	B/C = 7.3~8.4 (事業費±10%)											
事業期間変動 B/C = 1.6~1.8 (事業期間±20%)	B/C = 7.6~7.9 (事業期間±20%)											
事業の効果等												
<p>① 経済活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浦添拡幅区間の速達性が向上し、都市間連携強化が図られることで、経済活動を支援 <p>② 周辺まちづくりの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道や街灯、バス停等を整備することで、地域住民や来訪者のアメニティを向上し、周辺まちづくりを支援 <p>③ 地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 <p>④ 生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 												
関係する地方公共団体等の意見												
<p>【沖縄県知事】</p> <p>一般国道58号浦添拡幅は、沖縄ブロック新広域道路交通計画において、広域交通の拠点となる都市や、空港・港湾を高規格道路等と効率かつ効果的に連絡する「一般広域道路」として位置付けられているとともに、2環状7放射道路の一部を形成し、那覇都市圏の渋滞緩和に資する極めて重要な事業と認識しております。</p> <p>国道58号の当区間周辺においては、大型複合施設や物流関連施設が整備されており、また牧港補給地区では新たな跡地利用計画の策定が進められる等、今後も更なるまちづくりや観光需要等による交通負荷の増大が予想されることから、本道路の早期整備は急務であります。</p> <p>以上により、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意いたします。</p>												
事業評価監視委員会の意見												
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続を了承する。 												

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 国道58号浦添拡幅の位置する浦添市の人口の伸び率は全国平均を上回る伸び率を示しており、今後沿線開発等が進むことで更なる人口の増加が期待される。
- ・ 沖縄県の走行台キロは、全国を大きく上回る伸び率である。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 平成30年度に事業化、用地進捗率99%、事業進捗率84%（令和5年3月末時点）。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 全線開通に向けて整備を推進中。

施設の構造や工法の変更等

- ・ 今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら事業を推進する。

対応方針（原案）

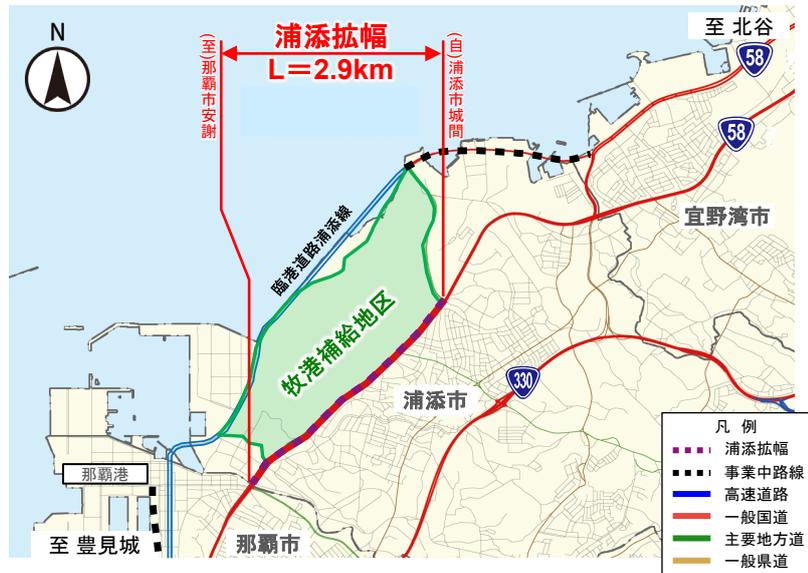
事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

位置図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。